

2025_0218 「大磯照ヶ崎海岸（写真）」日々の理科 3848号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

教材用の岩石採取の為に、神奈川県の大磯町の海岸に行ってきました。大磯には2つの海岸があり、いずれも湘南電車（東海道線）の大磯駅から徒歩10分ほどで行けます。一つは北東側にある「北浜海岸」です。北浜海岸は砂浜で、夏には海水浴場として賑わいます。ここには以前行ったことがありました。もう一つが、北浜海岸とは「大磯港（漁港）」をはさんで反対側（南西側）の「照ヶ崎海岸」です。

「照ヶ崎海岸（てるがさきかいがん）」は、北浜海岸とはちがって「砂利浜」です。さまざまな種類の岩石で構成されていて、しかも大きさも直径5mm程度のものから、10cm程度のものまであり、海岸の岩石採取には誠に適した場所です。私は1時間余り、夢中で石を拾いました。ざっと記憶しているものだけでも「安山岩」「凝灰岩」「火山礫凝灰岩」「砂岩」「泥岩」「流紋岩」「細粒凝灰岩」「石英閃緑岩」「大理石」「石英」「めのう様石英」「花崗岩」「チャート」それに「結晶片岩（由来不明）」や「べとべとさん（妖怪）」まで見つかりました。堆積岩、火成岩、変成岩がすべて広範に拾える海岸は、なかなか珍しいと思います。晴れた日に子どもたちを連れてくれば、理科的にも造形的にも、とても良い活動ができると思いました。

（2025年2月中旬／神奈川県大磯町）

